

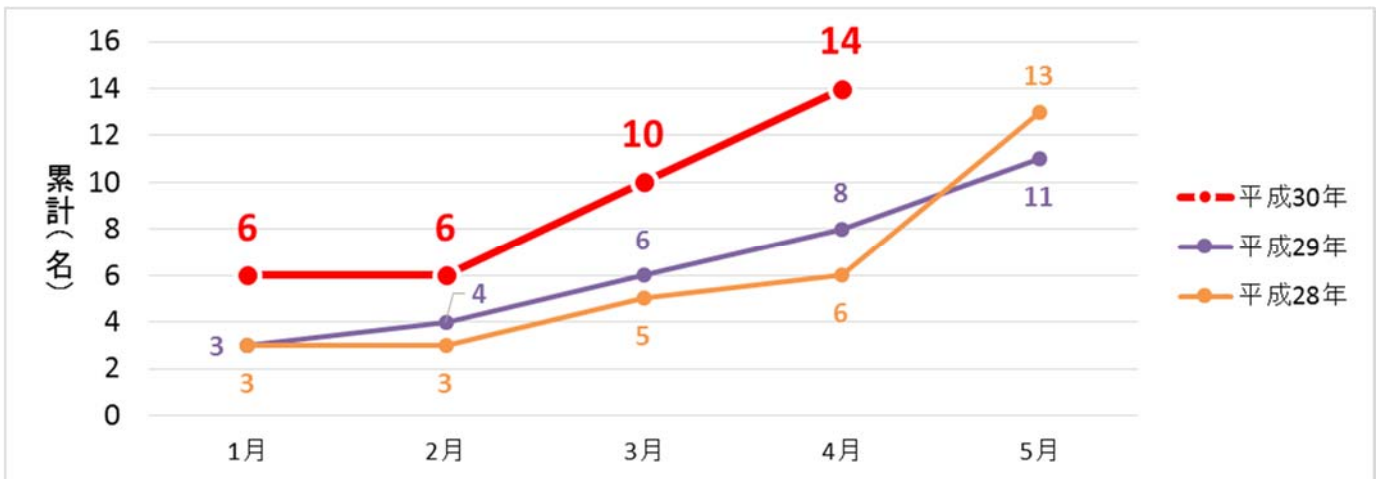
高速道路での交通死亡事故が多発しています

～平成30年1月～4月の交通死亡事故の発生状況～

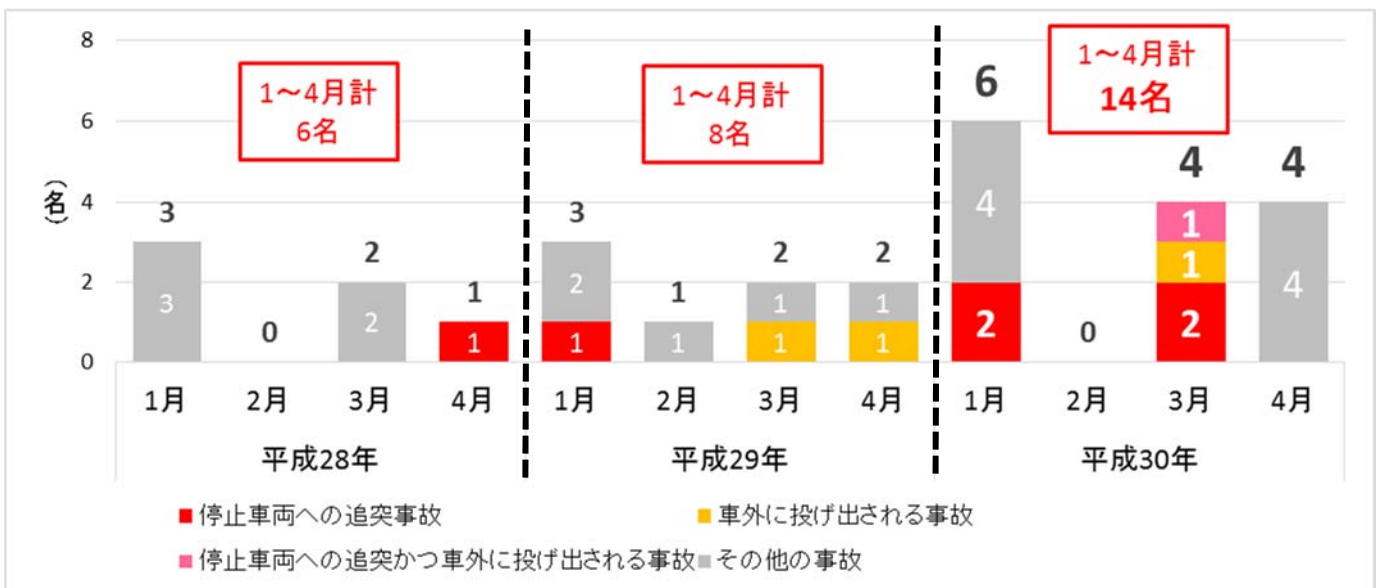
NEXCO東日本管内で今年1月から現在までに発生した交通死亡事故の状況を集計いたしました。旅行やレジャーで運転される機会が増えるこれからの時期、すべての座席でシートベルト着用し、スピードを控え、ゆとりをもった運転を心掛けていただきますようお願いいたします。

1. NEXCO東日本管内における交通死亡事故の発生状況 (※速報・当社調べ)

【図1】交通事故による死亡者数の累計推移 (平成30年は4月25日までの速報値 ※当社調べ)



【図2】交通事故による死亡者数の月別状況 (平成30年は4月25日までの速報値 ※当社調べ)



当社が管理する高速道路において、平成30年1月から交通事故により**14名**の方が亡くなっており、過去3年間で最悪のペースとなっています【図1】。

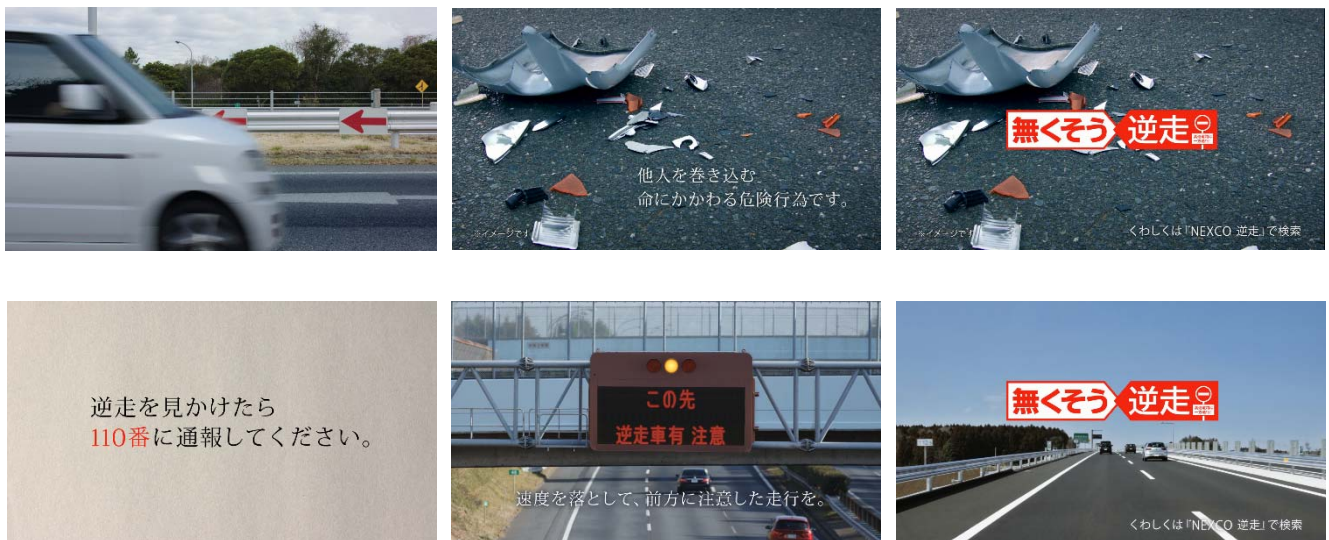
なお、停止車両への追突事故で4名、車外に投げ出され死亡する事故で1名、両方に該当する事故で1名の方が亡くなっています【図2】。また、昨年多発した自動二輪車が関係する事故が依然として発生しており、死亡事故の抑制に歯止めがかからない状況となっています。（※死亡者数はいずれも4月25日までの速報値 当社調べ）

2. 逆走防止啓発広報活動「無くそう・逆走」について

NEXCO東日本・NEXCO中日本・NEXCO西日本の3社では、高速道路の逆走防止について「無くそう・逆走」という統一ロゴを用い、昨年のゴールデンウィークから交通混雑期を中心に全国的に広報活動を展開しております。

今年度のテレビコマーシャルは、4月21日～放送中です。

今後も、逆走の危険性や逆走車を見かけた際の対処法などについて、広く呼び掛けてまいります。



3. 高速道路を安全にご利用いただくためのお願い

- 高速道路では速度感覚や距離感覚が麻痺し、視野も狭くなります。制限速度を守り、車間距離を十分に、余裕を持った運転を！
- 長時間の運転は判断力を低下させ、睡魔に襲われることも。疲れや眠気を感じたら早めの休憩を！（概ね1時間もしくは約100Kmに1回を目安）
- 車外に投げ出され死亡する危険性があります！必ず、すべての座席でシートベルト着用を！
- 自動二輪車の急ハンドルや急ブレーキは厳禁！周囲の交通状況に十分注意した運転を！